

2025年(令和7年)8月1日



さがみはら市議会だより

No.230

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用は
お断りします。

普通選挙法100年をきっかけに 選挙や議会について考えてみませんか？

人生の本舞台は
常に将来に在り

議会政治の父

尾崎 行雄(号堂) 生誕の地

相模原市へようこそ

津久井湖城山ダム西側擁壁に設置中！

※令和7年9月30日(火)まで(予定)

今年は普通選挙法の
公布から100年なんだ。
その実現には、尾崎行雄(号堂)の
活躍もあったんだよ。
詳しくは2面を見てね！



TOPICS



主な議案の概要

【特集】普通選挙法公布100年と
尾崎号堂

2



代表質問

代表質問・個人質疑と市の答弁を
分かりやすく紹介

3



一般質問

市政全般に対して行われた質問と市の答弁を
分かりやすく紹介

4

5

6



委員会の審査

議案の審議結果

議会史の編さんに取り組んでいます

7



特別委員会活動レポート

令和7年度広報会議

8

6月定例会議

民生委員の定数を定める条例の一部改正や 市立学校の設置に関する条例の一部改正など 17件の議案を可決・同意

6月定例会議では、民生委員の定数を933人から936人に改正する議案や、相武台
周辺地域における学校再編に伴い、市立もえぎ台小学校を廃止する議案などが提出され、
本会議や各常任委員会で質疑等がなされました。

そのほか、議員提出議案として、地方財政の充実・強化を求める意見書等3件の意見
書が提出されました。



その他詳細は、市議会ホームページを
ご覧ください。

9月定例会議のお知らせ

9月定例会議の予定は、次のとおりです。

本会議・委員会は、午前9時30分
から開会する予定です。

また、決算特別委員会の各分科会
は、それぞれ同日の委員会終了後に
開会する予定です。ただし、各委員
会の審査の状況により、翌日以降の
開会となることがあります。

8月19日(火) 議会運営委員会
25日(月) 本会議(提案説明)
9月 2日(火) 本会議(代表質問・個人質疑)
3日(水) 本会議(代表質問・個人質疑)
<本会議終了後>
決算特別委員会
5日(金) 総務委員会
決算特別委員会総務分科会
8日(月) 建設委員会
決算特別委員会建設分科会
9日(火) 民生委員会
決算特別委員会民生分科会

9月10日(水) 市民環境経済委員会
決算特別委員会市民環境経済分科会
11日(木) こども文教委員会
決算特別委員会こども文教分科会
24日(水) 本会議(一般質問)
25日(木) 本会議(一般質問)
26日(金) 本会議(一般質問)
<本会議終了後>
決算特別委員会
30日(火) 本会議(委員長報告、採決)
<本会議終了後>
議会運営委員会

※会議の日程等は変更になる場合があります。

9月定例会議
紹介ポスターデザイン



制作協力
女子美術大学 デザインルーム

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・Instagramでもご覧になれます。
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!

6月定例会議

主 な 議 案 の 概 要

市立津久井障害者地域活動支援センター条例の廃止

令和8年3月31日をもって、市立津久井障害者地域活動支援センターを廃止する。

民生委員の定数を定める条例の一部改正

民生委員の定数の増員

民生委員の担当世帯数の増加等に伴い、民生委員の定数を933人から936人に改める。

市立学校の設置に関する条例の一部改正

市立もえぎ台小学校の廃止

相武台周辺地域における学校再編に伴い、令和8年3月31日をもって、市立もえぎ台小学校を廃止する。

工事請負契約

消防救急デジタル無線設備更新作業委託

工事の場所：中央区中央2丁目2番15号ほか
契約金額：6億5,922万円
契約の相手方：日本電気株式会社神奈川支店

令和7年度一般会計補正予算(第1号)

補正額：1億1,900万円

津久井湖観光センター再整備事業 939万円

施設の再整備に向けた具体的な検討のため、事業手法や実現可能性を調査する民間活力導入可能性調査等を行う。

北市民健康文化センター施設管理事務費 897万円

民間活力を活用した手法で施設の改修整備・運営事業を進めるに当たり、事業者選定の手続きに係る支援業務を行う。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

特集

普通選挙法公布100年と
議会政治の父尾崎弐堂

いわゆる普通選挙法が大正14年5月5日に公布されてから、今年で100年を迎えました。

ここでは、現在の制度に至るまでの長い歴史とともに、普通選挙の実現に関わった重要人物の一人である尾崎弐堂について紹介します。



国立国会図書館
デジタルコレクションより

尾崎行雄(尾崎弐堂) 1858年～1954年
※「弐堂」は雅号

現在の相模原市緑区又野に生まれ、「憲政の神様」「議会政治の父」と称された日本の政治家。第1回衆議院議員総選挙で初当選以来、連続当選25回、議員在職は60年以上に及び、民主主義と平和の実現に尽力した。

明治45年に日米友好の証として、ワシントンD.C.のポトマック河畔に約3,000本の桜の苗木を贈った人物としても知られている。

普通選挙ってなに？

身分や納税額に関係なく、一定の年齢になったら誰もが選挙権を得られる制度のことです。

明治22年に制定された衆議院議員選挙法では厳しい納税要件が設けられていましたが、徐々に普通選挙を求める機運が高まり、大正14年の法改正により、納税要件が撤廃されました。

ただし、この時点で選挙権を有していたのは「25歳以上のすべての男子」のみであり、女性が選挙権を獲得したのは戦後の昭和20年になってからでした。

100年前(大正14年)の法改正で、有権者数はどう変わったの？

大正8年の法改正によって、有権者の納税要件は「3円」まで引き下げられましたが、それでも有権者数は国民全体の5.5%にすぎませんでした。

大正14年の法改正により、それが一気に20%にまで増えることになりました。

日本における選挙権拡大の歴史

	制定・改正	有権者の資格要件 (国政選挙)	人口に占める 有権者の割合※
制限選挙	明治22年 (1889年)	直接国税15円以上を納める 25歳以上の男子	1.1%
	明治33年 (1900年)	直接国税10円以上を納める 25歳以上の男子	2.2%
	大正8年 (1919年)	直接国税3円以上を納める 25歳以上の男子	5.5%
普通選挙	大正14年 (1925年)	〈納税要件撤廃〉 25歳以上の男子 Point! 男子普通選挙	20.0%
	昭和20年 (1945年)	20歳以上 Point! 男女平等の普通選挙	48.7%
	平成27年 (2015年)	18歳以上	83.3%

当時の15円は、
今の60万～
70万円に相当

約4倍!!

この翌年
(大正15年)、
地方選挙にも
普通選挙導入

尾崎弐堂は普通選挙とどんな関係があるの？

尾崎弐堂と言えば「ふたつのフセン」。一つは軍事縮小や世界平和を訴える「不戦」で、もう一つが「普選(=普通選挙)」です。

議会が民意を反映する場となるためには、普通選挙の早期実現が不可欠と考えた弐堂は、各地で演説するなど、普通選挙を求める運動の先頭に立ち、その必要性を訴え続けました。



芝公園の普選大懇談会で演説する尾崎弐堂
(尾崎行雄記念財団提供)

尾崎弐堂について、もっと知りたい!

尾崎家代々の屋敷跡には「尾崎弐堂記念館」が建てられ、館内に多数の資料や遺品などが展示・保管されています。

尾崎弐堂記念館



施設情報
(相模原市立博物館HP)



〒252-0158 緑区又野691
電話 042(784)0660



選挙権を有することは、昔は当たり前じゃなかったんだね。18歳から投票できるようになったということは、それだけ若い世代の意見も届きやすくなっているよね。多くの人が、もっと選挙や議会に関心を持ってくれたらうれしいな!

※総務省発行資料より(昭和20年までは法制定・改正後初めて施行された国政選挙時のもの)

代表質問

代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容は、議会中継(録画)などをご覧ください。

〈6月6日〉
渡部 俊明(自 民 党)
山口 恒(さがみらい)
後田 博美(公 明 党)

〈6月9日〉
仁科なつ美(立 民)
五十嵐千代(颯 爽)
こさわ隆宏(日本維新の会)
羽生田 学 ※個人質疑



6月6日



6月9日

民生委員の定数を増やす改正増員の理由や担い手の確保は

3つの地区(※1)で定数を増員することとした経緯は。

担当区域内の世帯数や見守り対象者数が増加し、担当区域を分割する必要性があるという、当該地区の民生委員児童委員協議会からの意見を反映させたものである。

定数を定めるに当たっての考え方は。

国の配置基準を踏まえ、地区民生委員児童委員協議会からの要望や地域の実情等を総合的に勘案した上で設定しており、概ね400世帯を超えない範囲で一人の配置を基本としている。

現在の欠員の状況と、その解消に向けた取組は。

欠員数は、本年6月1日現在50人であり、その解消に向けて、民生委員の負担軽減をはじめ、選任方法の工夫や認知度向上のための広報活動などに取り組んでいる。

民生委員が担う業務への認識と、負担軽減に向けた取組は。

地域のつながりの希薄化や、複合化・複雑化する課題への対応、働きながら活動する民生委員の増加など、民生委員を取り巻く環境が大きく変化していると認識しているため、活動しやすい環境づくりに向け、民生委員協力員制度(※2)の活用促進や、タブレット端末の活用による業務の省力化など負担軽減に取り組んでいる。



民生委員・児童委員
パンフレット

障害者地域活動支援センター廃止による利用者への影響は

津久井障害者地域活動支援センターを廃止する理由は。

現指定管理者から、民設民営により新たな事業所を開設する提案があり、協議を重ねた結果、利用者全員の継続支援が可能であると確認できたことから、廃止することとした。

新たな民間事業所では、これまでの機能等は確保されるのか。

生活介護と就労継続支援B型のサービス提供を予定しており、現在行っている創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流促進を継続できるほか、送迎サービス等も新たに加わるなど、引き続き、きめ細かな支援が期待できると考えている。

用語解説

※1 3つの地区
中央地区、星が丘地区、大野南地区のこと。

※2 民生委員協力員制度
民生委員の活動しやすい環境づくりに向け、協力員が民生委員の活動を補佐・協力する制度のことで、民生委員自身が必要に応じて協力員候補者1人を選び、市長が委嘱する。

※3 各区の観光振興プログラム
令和7年3月に緑区・中央区・南区がそれぞれ策定したもので、令和7年度から9年度までの3年間を対象としている。

※4 プラネタリウム
中央区高根3丁目にある市立博物館のプラネタリウムのこと。令和7年7月のリニューアルで、10億個の星々と8K全天周映像を同時に体験できるようになった。

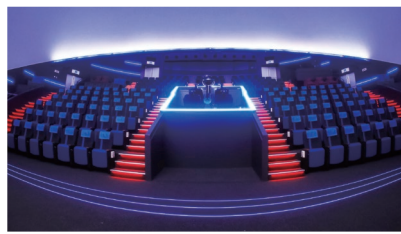
市内の魅力を効果的に発信 観光・地域振興の取組は

各区の観光振興プログラム(※3)を策定した目的や今後の取組は。

3区が連携しながら、それぞれの個性を活かした観光施策を進めるために策定した。今後は、観光関連団体や区民等と連携し、更なる地域資源の掘り起こし等を行うとともに、各区の観光資源を繋いだ「交流・周遊型の観光」に取り組む。

世界最高峰となるプラネタリウム(※4)を活用した魅力発信は。

リニューアルオープンは「宇宙を身近に感じられるまちさがみはら」を広く発信する絶好の機会であると捉え、多くのメディア露出に繋げるほか、プラネタリウムの操作体験をふるさと納税の返礼品とするなど、効果的なPRを実施していく。



リニューアルした
プラネタリウムの内観

津久井湖観光センターの再整備において想定している機能は。

当該施設は、第3次相模原市観光振興計画において、津久井地域の観光交流の入口として、観光情報の発信及び地域特産品の販売機能を担い、更なる充実を図ることとしている。

児童数が減少した相武台地区 小学校再編の経緯は

学校を再編し、もえぎ台小を閉校する結論に至った経緯は。

検討協議会(※5)で、児童数の推計や通学距離等を踏まえて複数の再編パターンを比較検討するとともに、アンケートで保護者の意向を確認しながら協議を重ねた結果、子どもたちにとって望ましい学習環境を確保していくため閉校することとした。

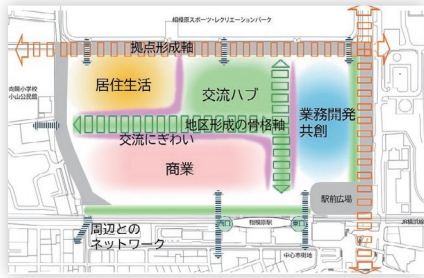
再編後の跡地活用を検討する上で、地域の声の反映は。

6月3日開催の相武台地区まちづくり会議の中で、今後の進め方について対話を行った。引き続き、建物の利活用も含め、より良い活用方法となるよう、地域と共に検討していく。

相模原駅北口地区まちづくり 人や企業を呼び込む方策は

土地利用計画骨子(※6)で示した土地利用のポイントは。

民間からの10件の提案や、有識者等で構成する「土地利用計画検討会議」からの意見を踏まえ、本市の課題である昼間人口の増加を図り、持続的な発展を遂げるため、業務系の用途に重点を置いた土地利用を図ることとした。



相模原駅北口地区土地利用計画図

駅周辺の道路整備や回遊性の確保に関する検討状況は。

地区の価値や企業等の進出意欲を高めることができるよう、周辺の道路に加え、JR横浜線との立体交差化等を含めた広域的なネットワークとなる道路整備について検討している。

※5 検討協議会
平成30年8月に設置された「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」のことで、保護者と地域代表者の計15名で構成されている。

※6 土地利用計画骨子
令和7年5月に市が公表した「相模原駅北口地区土地利用計画骨子」のこと。



にしだ ゆうと
西田 悠人
(自民党)



STEAM教育の支援スペース(※)教育委員会としての認識は

教育長 課題を解決する学習や生徒会活動などで、主体的な活動の充実に向けて活用されるとともに、近隣の小学校や高等学校などとの校種を超えた交流の場となることにも期待している。

高齢者の健康寿命を延ばすリエイブルメント(※)の取組状況は

市長 新規の要支援1・2相当の方を対象に短期集中予防サービスを実施し、令和5年度の利用者の約6割は、介護サービスなしで自分らしい生活が可能となり、社会参加に繋がっている。

その他の質問 プログラミング教育の推進／単身高齢者の支援など

※STEAM教育の支援スペース 弥栄中学校がAmazonから寄贈を受けたSTEAM教育(実社会での課題解決に生かすことを目指す教科横断的な教育)に資するスペース。高性能PCや3Dプリンタ等がある。

※リエイブルメント 「再びできるようになる」という意味で、本人の力を引き出すケアとリハビリテーションを徹底する考え方のこと。



STEAM教育の支援スペースでの学習の様子



えのもと ようすけ
榎本 揚助
(さがみみらい)



相模原駅北口のまちづくり市が土地を取得しない理由は

市長 本地区は民間活力を最大限に生かしたまちづくりができる場所と考えており、土地利用計画案では道路や公園等の公共施設は市が整備し、他の施設は民間で整備することとしている。

決算余剰金を活用した一時的な減税政策への見解は

市長 減税には生活費の負担軽減に繋がる効果があるが、物価高騰の影響に対する国の支援については、社会経済情勢等を踏まえた効果的な対策が実施される必要があると考える。

その他の質問 給付金事務に係る自治体負担など



なかむら ただとき
中村 忠辰
(公明党)



廃棄物としてのリチウム蓄電池本市の処理体制の現状は

市長 市の計画(※)で、適正排出及び再資源化を行うことを位置付けている。昨年度から市内3か所で対面で回収し、電池リサイクル業者に引き渡しており、適正かつ安全な体制を整えている。

有害鳥獣による被害の把握今後はICT活用が必要では

市長 現在、被害の報告は電話や現地での聞き取りが主なものとなっている。今後は報告の簡略化等に向け、導入に係る経費や課題等を整理したうえでICT活用の必要性を検討していく。

その他の質問 公共工事に関する市内事業者への発注など

※計画 第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画のこと。



すずき こうち
鈴木 晃地
(日本維新の会)



相模原麻溝公園の遊具(※)が破損事故発生の原因と市の対応は

市長 当該遊具は、同時期に6基設置してから相当な期間が経過しており、今後の安全が確保できない恐れがあるため、全て撤去した。事故発生の原因は、製造メーカーで分析中である。

子どもの施設使用料の無料化団体利用の適用へ検討状況は

市長 昨年度に実施した調査では、施設の団体(※)利用は約75%だった。この無料化は、管理運営上の課題のほか、施設等への影響が大きいと判断し、引き続き課題を整理し、必要性を判断していく。

その他の質問 県外大会の出場に対する支援／市街化区域内の生産緑地など

※遊具 ぶら下がりバネ遊具のこと。金属製支柱の根元部分が折れ、当該遊具を使用していた児童1名が怪我をする事故が令和7年4月に発生した。

※団体 ここでは「構成員10名以上かつ中学生以下を含む団体」のことを指している。



市内で開設されている無料低額宿泊所の一つ



むかわ けい
務川 慧
(自民党)



農家の生産力向上への取組水田の集約化等への支援策は

市長 水田の集約化における畦畔除去等の対策が課題であり、地域計画(※)に係る新磯地区での話し合い等を通じ国等の補助制度の活用を含め、農業関係者と様々な課題について検討していく。

県道52号相模原町田の整備二つの工区(※)の工事完了時期は

市長 北里工区と下溝工区のそれぞれにおける先行着手区間の工事の進捗状況に応じて、順次、残りの区間に工事を拡大し、可能な限り早期完成を目指していく。

その他の質問 職員定数／図書館相武台分館など

※地域計画 農業経営基盤強化促進法に基づき、市が目指すべき将来の地域農業の在り方や農用地区域内農地等(青地)の利用を明確化するため、令和7年3月に策定したもの。

※二つの工区 相模原公園入口交差点から西大沼4丁目交差点までの北里工区と、麻溝小学校入口交差点から市道横山磯部までの下溝工区のこと。現在、各工区の先行着手区間の工事を進めている。



はせがわ こ
長谷川 くみ子
(颯 爽)



市内事業者のPFAS対応市の認識と今後のサポートは

市長 化学物質を取り扱う事業者は、市民を始めとした関係者と対話を行い、相互理解を深めていくことが必要と認識している。引き続き意見交換を行いながら、必要な助言をしていく。

無料低額宿泊所の入所者の声アンケート結果の評価や課題は

市長 施設の事業者を通さずにアンケートを行うことで、施設の運営状況に対する率直な意見を聴くことができた。50代以上の利用者が多く、入所の長期化が課題であると認識している。

その他の質問 市民要望のあった事業所の土壌測定や血液検査など



たにがわ
谷川 ヒロシ
(さがみみらい)



災害時の避難所の体制に懸念市の責務と運営体制の現状は

市長 市は、避難所を開設して、必要な物資の供給をはじめ、避難者の健康管理等を行う。運営に当たっては、市職員等を含む避難所運営協議会を中心に、避難者全員で協力して対応する。

中山間地域における交通再編代替手段の運賃と地域の声は

市長 乗合タクシーの運賃は、バスより高くタクシーより安い設定を基本として検討している。アンケートでは、心配事として、63%の方が「料金が安い」と回答している。

その他の質問 犬との共生に向けた環境整備など



はにうだ かく
羽生田 学
(無所属)



バス路線の減便や廃止の危機市営バスの導入が必要では

市長 今後、運転士不足によるバス路線の統廃合が見込まれていることから、その補完のため、乗合タクシー等の民間の輸送資源を活用したコミュニティ交通の導入に取り組んでいる。

ホールの改修と廃止(※)が同時期南市民ホールの利用の継続は

市長 南市民ホールは、安全確保等の理由から利用の継続は難しいと考えており、グリーンホールが多目的ホールでの上演が困難な場合は、他の文化施設を利用いただくよう案内していく。

その他の質問 麻溝台・新磯野地区整備推進事業／給付型奨学金など

※ホールの改修と廃止 「相模女子大学グリーンホールの大ホール改修」と「南市民ホールの廃止」のこと。ともに南区内の施設である。

6月定例会

質

市政全般にわ
ポイント

議案以外
に関する
一般質問

議 般 問

たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。

各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。



み す じょう た ろう
三須 城太郎
(さがみらい)



その他の質問 自転車運転者のマナー向上と安全性向上に向けてなど

Q 相模原駅北口地区にスタジアムを 市が主体的に整備する考えは

市長 民間活力を最大限に生かしたまちづくりを目指し、民間提案募集を行ったが、用地取得も含めた民設民営の提案がなかったため、土地利用計画案にスタジアムを含めていない。

Q ロボットのまち さがみはら 市民が実感できる機会拡充は

市長 イベントの開催のほか、本庁舎内でロボットがエレベーターを乗降し、フロア間を移動する実証実験を行うなど、市民とロボットが共存するまちの実現に向けた取組を進めていく。



相模原市ロボット職員
「ななまる」



は ぎ う だ や す は る
萩生田 康治
(自民党)



その他の質問 望まない受動喫煙対策/市職員の人材確保など

Q 「緩やかなつながり」による 自治会の加入促進への見解は

市長 地域行事への参加など、緩やかな繋がりによって協力の輪や地域への愛着等が育まれることは、主体的に自治会等に関わっていく一つの方策として効果的であると考えている。

Q JAXAを軸に連携を拡げる 宇宙交流拠点形成への取組は

市長 はやぶさの日イベント等で、JAXAの研究者を招いた講演会を実施している。今後も積極的に実施するほか、宇宙に興味を持つ人や企業の交流に繋がる事業等を進めていく。



お か も と こ う そ う
岡本 浩三
(公明党)



その他の質問 自転車の交通安全/防災行政用同報無線など

Q さがみはら国際交流ラウンジ 外国人市民向けの相談体制は

市長 生活上の困りごとに関する相談を受け止め、助言等を行っている。当該ラウンジだけで解決できない場合は、必要に応じて引き続き先に同行するなど、寄り添った対応に努めている。

Q 生活保護のケースワーカー業務 負担軽減と支援の質の向上は

市長 経験に応じた階層ごとの研修を実施するほか、関係機関との連携等により、生活保護世帯に寄り添った支援に努めるとともに、一人で抱え込まないよう負担の軽減を図っている。



さ く ら い
桜井 はるな
(立 民)



その他の質問 新プラネタリウム/相模大野中央公園の生物多様性など

Q 本市のこども医療費助成制度 高校生世代の所得制限撤廃は

市長 限られた財源の中で持続可能な制度とするため、対象条件を定めている。全国どこでも同じ制度の下で医療を受けられるよう、引き続き、統一した制度の創設を国に要望していく。

Q 相模大野ステーションピアノ事業 観光振興にも資する取組では

市長 全国から参加者が訪れ、演奏の様子や街並みをSNSにより動画配信等していただくことで、まちの魅力が幅広く発信されており、観光振興にも効果的な取組であると認識している。



開通に向け工事中の宮上横山線



お お や ぎ さ と し
大八木 聡
(自民党)



その他の質問 自治会活動への支援など

Q 「市民の声」を政策に繋げる A Iを活用した枠組み構築は

市長 これまで蓄積してきた「市民の声」は、重要な財産であると認識している。課題を鮮明にし、庁内横断的に取り組む方策や市民ニーズに沿った施策の立案等について、検討していく。

Q 道路に越境した枝木への対応 改正民法(※)に基づくルール作りは

市長 民地からの枝木の越境は、今後その所有者の高齢化に伴い増えることも想定されることから、改正民法の規定を踏まえつつ、より迅速かつ適切な対応方法について検討していく。



い わ い だ い
岩井 大
(日本維新の会)



※都市計画道路宮上横山線 防犯カメラ設置費補助制度/樹木の維持管理など

Q 緑区内の鳩川の河川改修計画 進捗状況と本年度の予定は

市長 千年橋から内出橋までの川幅を拡げる護岸改修を行う計画で、進捗率は約60%である。今後は西内出橋の架け替え等を予定しており、本年度は護岸改修に必要な用地取得を進めている。

Q 宮上横山線(※)に対する地域要望 横断歩道や信号機の設置は

市長 令和4年1月の説明会で横断歩道を3か所設置する旨説明したところ、そのうち2か所に押しボタン式信号機の設置要望があり、交通管理者との協議の結果、1か所に設置されることになった。

※改正民法 令和5年4月施行の法改正のことで、隣地から境界を越えて木の枝が自分の土地へ伸びてきた場合、状況により自ら枝を切ることができるようになった。

※都市計画道路宮上横山線 ここでは「緑区東橋本2丁目交差点から町田市境まで」の道路のことで、令和7年9月末頃の開通を目指して整備が行われている。



ま つ う ら ち づ こ
松浦 千鶴子
(さがみらい)



その他の質問 教職員の働き方改革推進など

Q 不登校対策の充実を国に要望(※) その意義と対策への思いは

市長 本市が主導して九都県市の総意として要望したことは大変意義がある。教育現場での対応の充実と地域との連携の強化で、児童生徒に寄り添った対応が図られるよう取り組んでいく。

Q 登下校時の安全な場所の確保 自然災害から身を守る取組は

教育長 学校では、教育委員会発行の副読本等を活用し、防災教育を実施している。具体的な避難場所については、学級等で指導するとともに、家庭でも確認してもらうよう促している。



の も と よ し み
野元 好美
(颯 爽)



その他の質問 プラスチックごみの資源化と課題など

Q 中山間地域の移動手段の確保 住民ニーズへの横断的な取組は

市長 交通再編に当たり、乗合タクシーの拡充以外にも観光、教育、福祉等の分野と連携して取り組んでいる。今後も、利便性の向上や地域の輸送資源の活用方策を横断的に検討していく。

Q 香害や化学物質過敏症に配慮 公共空間のフレグランスフリー化は

市長 大勢の人が集まる公共空間においては、香害や化学物質過敏症に配慮し、合成香料を含む製品の使用を控えることが望ましく、一人ひとりの理解が進むよう周知や啓発に努めている。

※要望 令和7年4月に開催された第87回九都県市首脳会議において、本市が提案して国に要望することとされた「不登校児童生徒の多様な学びの場の確保と支援の充実について」のこと。

6月定例会議

一般質問



あべ よし ひろ
阿部 善博
(自民党)



自治会支援の更なる強化へ
他市で進む条例制定の検討は

市長 条例の制定により、将来にわたって安全安心で暮らしやすい地域の実現が期待される。現在、制定の効果等の情報収集や分析を行っており、より効果的な支援に繋げていきたい。

相模大野駅周辺の再活性化へ
北口ペDESTリアンデッキの対応は

市長 建設後約30年が経過し、水たまりの発生や雨水の侵入による本体内部の腐食等が課題であり、令和4年度から5か年の計画で、防水対策として床面タイルの張り替えを実施している。

その他の質問 数値と根拠に基づく市政運営など

詳しい内容については、
市議会ホームページや
議会中継(録画)をご覧ください。



各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。



市役所前モニュメント
「平和のねがい」



すず き しゅう せい
鈴木 秀成
(さがみみらい)



都市部の高齢者等の移動手段
課題の認識と今後の取組は

市長 バスの減便などにより、身近な移動に困難を抱える高齢者等が増加する傾向にある。買い物など近距離の移動に対応した「小さな交通」の充実が重要であり、引き続き検討していく。

東林地区の都市計画道路
道路ネットワークとしての考えは

市長 各路線(※)は広域的な道路ネットワークを形成する上で重要であるが、接続する大和市側の道路も未整備で、課題がある。大和市の計画との整合を図りながら、整備時期を検討していく。

その他の質問 本市の農業／スポーツ施設の利用など

※各路線 ここでは相模大野線、上鶴間線及び翠ヶ丘線を指す。



東林地区の渋滞の様子
(上鶴間高校入口交差点付近)



うす い たか ひこ
臼井 貴彦
(立 民)



その他の質問 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直しなど

相模原駅周辺のまちづくり
道路整備の対象路線や手順は

市長 宮下横山台線の4車線化や南北道路と横浜線との立体交差化を含む周辺道路ネットワークについて庁内検討のうえ関係機関協議を実施し、都市計画決定に向けた手続きを進めていく。

教育分野におけるDX推進を
課題認識や新設部署(※)の取組は

教育長 システム導入などの際に、教員の一時的な負担増が想定される。新設部署で学校業務の現状把握に努めており、ICT導入の効果の高いものや改善点等を洗い出し、DXに繋げていく。

※新設部署 令和7年4月から教育局内に設置されている「働き方改革推進室」と「教育DX推進課」のこと。



おお さき ひで はる
大崎 秀治
(公明党)



その他の質問 SDGsの取り組み／子育て支援／市内医療体制の確保など

平和創出へのビジョンが大切
本市の将来にわたる取組は

市長 子どもの頃から平和について考え、行動に結びつくよう、様々な機会を作ることが重要と認識している。オンラインやSNSを活用し、若い世代も参加しやすい事業を実施していく。

世界一のプラネタリウム(※)
独自のプログラムやイベント開催は

教育長 市内外のリアルな背景映像を組み合わせたプログラム等を充実する。また、民俗芸能など様々な分野とのコラボレーションにより、幅広い層が楽しめる、魅力的な企画に取り組む。

※プラネタリウム 3面用語解説参照



す だ たけ し
須田 毅
(自民党)



その他の質問 学校施設の長寿命化改修／学校体育施設の地域開放など

共同使用が合意された道路(※)
整備に向けた今後の手続きは

市長 今後の手続きについては、共同使用に関する条件の詳細を国・米軍と協議し、現地実施協定を締結する。その後、提供国有財産の一時使用許可が必要となる。

大沼公民館の改修を望む声
実情に即した改修の検討は

教育長 施設改修の対象は、築年数や劣化の状況によって整備の優先順位を定めている。築年数が40年を迎える大沼公民館の長寿命化改修は、設備の状況等を踏まえ、総合的に判断していく。

※道路 相模総合補給廠北側外周道路の3工区部分のこと。通学路であることなどを踏まえ、歩道として使用するため、返還までの間の共同使用を防衛省に申請していた。

陳情の審議結果

採 択

- ▷地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求めることについて(第9号)
- ▷地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書を政府等に提出することを求めることについて(第13号)
- ▷消費者被害を防止、救済するため、特定商取引法の抜本的な法改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることについて(第14号)

不 採 択

- ▷環境保全に関することについて(第10号)
- ▷「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」を国に提出することを求めることについて(第12号)
- ▷マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求めることについて(第15号)
- ▷マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行する手続きを、行わせるための対応を求める意見書を国に対して提出することを求めることについて(第16号)

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。主な議案等に関する質疑事項は、次のとおりです。

総務委員会

令和7年度一般会計補正予算(第1号)所管部分
※津久井湖観光センター再整備事業に関して

- 民間活力導入可能性調査等を行うに当たり想定している枠組み
- 再整備後の施設の運営主体
- 施設周辺の市有地を観光振興のために活用する考え

【賛成総員により可決】

民生委員会

市立津久井障害者地域活動支援センター条例の廃止

- 民間が設置する施設の場所が当初の計画より遠方となった理由
- 民間への移管に伴う利用者の負担を軽減するための対応
- 民間への移管に当たり、従前のサービスを継続して提供することの担保

【賛成総員により可決】

市民環境経済委員会

令和7年度一般会計補正予算(第1号)所管部分
※北市民健康文化センター施設管理事務費に関して

- 前回の入札が不調となった要因の分析と今後の対策
- 事業者が入札に参入しやすくなるための工夫
- 改修後の施設構成の考え方と貸室の稼働率向上への取組

【賛成総員により可決】

建設委員会

工事請負契約(消防救急デジタル無線設備更新作業委託)

- 更新工事期間中における設備のバックアップ体制
- 通信機器電源の停電時における対応
- 総額21億円規模の長期事業を随意契約で進めることへの見解と、議会への提案の在り方

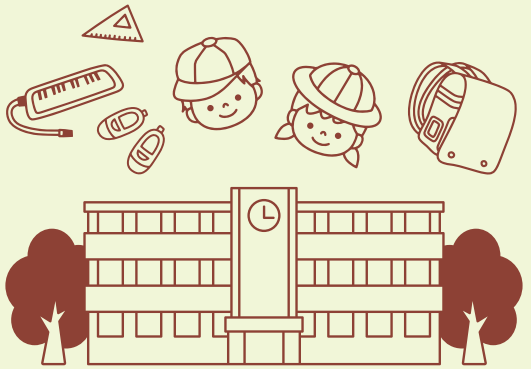
【賛成総員により可決】

こども文教委員会

市立学校の設置に関する条例の一部改正

- 相武台地区の将来的な人口変動と教育環境の維持に関する検討内容
- 小学校閉校後の暫定利用期間中における避難所としての活用
- 学校再編に関する保護者アンケートで把握した意見への対応

【賛成総員により可決】



6月定例会議 主な議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対 議案に対する討論が行われた場合、賛成討論は[賛]、反対討論は[反]を付記しています。

議案番号	議案	自民党	さがみらい	公明党	立民	日本維新の会	颯爽	無所属議員A	無所属議員B	議決結果
市長提出議案										
第87号	市立津久井障害者地域活動支援センター条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88号	民生委員の定数を定める条例の一部改正									
89号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
90号	市立学校の設置に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
92号	工事請負契約(消防救急デジタル無線設備更新作業委託)	○	○	○	○	○	[賛]	○	○	可決
93号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案										
第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書									
6号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7号	消費者被害を防止・救済するため、特定商取引に関する法律の抜本的な改正を求める意見書									

※6月定例会議のその他の議案8件は、全会一致で可決・同意されました。
全議案の審議結果は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

議会内会派の構成 (議員の氏名は50音順、()内は略称)

自由民主党相模原市議団(自民党) 14人									
秋本 仁	阿部 善博	大槻 和弘	大八木 聡	折笠 正治	佐藤 尚史	須田 毅	寺田 弘子	中村 昌治	西田 悠人
務川 慧	渡部 俊明	萩生田康治	古内 明						
民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい) 10人									
石川 達	今宮ゆうき	榎本 揚助	鈴木 秀成	関根雅吾郎	谷川ヒロシ	松浦千鶴子	三須城太郎	森 繁之	山口 恒
公明党相模原市議団(公明党) 8人									
後田 博美	大崎 秀治	岡本 浩三	加藤 明德	中村 忠辰	南波 秀樹	西家 克己	保々富美子		
立憲民主党(立民) 5人									
臼井 貴彦	大沢 洋子	栗原 大	桜井はるな	仁科なつ美					
日本維新の会相模原市議団(日本維新の会) 3人									
岩井 大	こさわ隆宏	鈴木 晃地							
さっそう 颯爽の会(颯爽) 3人									
五十嵐千代	野元 好美	長谷川くみ子							
会派に属していない議員(無所属)									
小林たかみち(無所属議員 A)					羽生田 学(無所属議員 B)				



議会史の編さんに取り組んでいます！



相模原市議会では、昭和54年4月から平成31年3月までの市議会の流れをまとめた『相模原市議会史』の編さん作業に取り組んでいます。
令和7年2月には、学識者5名で構成する「編集会議」を設置して1回目の会議を開催し、専門的な立場から様々なご意見をいただきました。
また、議長や副議長などの議員で構成する「編さん委員会」も設置しており、作業の進捗の確認や、今後の進め方などの協議を行っています。
詳細は、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

相模原市議会史

検索

ホームページ



Q 相模原市議会史ってなに？

A 市政の動きや国内外の情勢を踏まえながら、相模原市議会の活動の流れをまとめたものです。
相模原市では過去に、相模原市議会史のほか、相模原市史や相模原市教育史を発刊したことがあります。

Q 過去に発刊した相模原市議会史は、いつの時代のことが書かれているの？

A 明治22年から昭和54年3月までの市議会の流れについて、平成8年までに5冊(資料編2冊・記述編2冊・年表編1冊)を発刊しました(資料編は昭和16年以降のみ)。当時も学識者が執筆し、読み応えのあるものになっています。

Q 相模原市議会史や相模原市史は、図書館で読むことはできるの？

A 市内の図書館に配架しています。配架場所の詳細は、図書館ホームページで検索することができます。
ぜひ、議会史の扉を開いてみてください！

編さん委員会の様子(5月29日)



相模原市議会史



例えば、記述編Ⅰの906ページには、昭和29年の「相模原町を相模原市とすることの申請」議案をめぐる質疑や討論の様子などが記述されています。

SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和6年度特別委員会 活動レポート

特別委員会とは

特定の問題を調査研究するために設置された委員会だよ。
現在、5つの特別委員会があるけど、今回は次の3つの委員会について、
令和6年度の活動の一部を紹介するよ。

- 子どもと高齢者などの支援に関する特別委員会**
子どもの権利保障と育ちに関する施策、
高齢者の介護・医療・ケア等の充実強化
及び移動支援に関する調査研究
- 基地対策特別委員会**
米軍基地に関する諸問題について、
議会が独自に検討すべき課題に対処
- 大都市制度に関する特別委員会**
大都市制度に関する国等への要請・
要望の集約、本市にふさわしい大都市の
在り方に関する調査研究



子どもと高齢者などの支援に関する特別委員会 児童生徒の学力・体力・生活状況の調査や 介護ロボット活用の取組等を視察

令和7年1月23・24日 大阪府箕面市、名古屋市

箕面市では、小・中学校の9年間を通して一人ひとりの学力などの経年変化を把握する「箕面子どもステップアップ調査」及び令和5年度に市長部に設置した「いじめ相談・解決室」について、名古屋市では、介護現場の負担軽減等を目指す「介護ロボット等活用推進事業」について、調査研究を行いました。

子どもの権利保障や育ちに係る施策、介護・ケア等の充実強化に係る施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



箕面市での視察の様子



名古屋市での視察の様子

基地対策特別委員会

沖縄における防衛施設の状況や 米軍施設の返還等に向けた取組を視察

令和7年1月28・29日 沖縄防衛局(那覇市内)・沖縄県

沖縄防衛局では、防衛施設の状況や返還に向けたこれまでの取組等について、沖縄県では、基地に起因する騒音問題や環境問題等のほか、米軍施設の返還と跡地利用に向けた課題や取組について、調査研究を行いました。
本市における米軍基地に関する諸案件の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



那覇港湾施設での視察の様子



沖縄県での視察の様子

大都市制度に関する特別委員会

名古屋大都市圏の発展や 中京大都市圏の形成に向けた取組を視察

令和7年1月28・29日 名古屋市、愛知県

名古屋市では、「自立」と「名古屋大都市圏の一体的な発展」を目指した取組の一つである「特別市制度の創設への機運醸成」などについて、愛知県では、首都圏の持つ社会経済的機能を代替する「中京大都市圏」の形成に向けた取組について、調査研究を行いました。

本市にふさわしい大都市の在り方に関する検討等を行うに当たって、参考にしていきます。



名古屋市での視察の様子



愛知県での視察の様子

令和7年度広報会議

令和7年度の任期が始まりました。1年間よろしくお願いいたします。

広報会議では、市民の皆様にご自分事として議会や市政に関心をもっていただけるよう、情報発信の在り方などについて協議を行っています。今年度も、市議会だよりをはじめ、ホームページやSNS、定例会議紹介ポスターなどを通じて、市議会の活動状況を広くお知らせしていきます。



さがみはらLOVE フォトギャラリー 「橋本の香福寺日本庭園」 (撮影場所：緑区橋本 香福寺)

緑区 若林 正夫さん

香福寺境内は回遊式庭園が広がり、四季の花々が咲き、池には色とりどりの鯉が鑑賞できる。

写真を募集しています! フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。
市内のお気に入りの風景等をご紹介します。ご応募お待ちしております!

応募方法 Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、
政策調査課 (Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp) へ
〒252-5277 中央区中央2-11-15 電話 042-769-9803

注意事項 ○応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限ります。
○Eメールの場合、1通の容量は11MB以内で送ってください。
○採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
○肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
○掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。
ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから→ 相模原市議会

Q検索

※この市議会だよりは14万7,500部作成し、1部当たりの単価は11.33円です。
また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。

ホーム
ページ



「いいね!」してね!!

フェイス
ブック



「フォロー」してね!!

インス
タ
グラム

